



ソフトウェア Software

回転翼振動の分析(ver 6.x) Analyze Blade Vibration (ver 6.x)

Analyze Blade Vibration は、非接触翼端センサ（non-contacting blade tip sensors）で収集されたデータを分析するために使用されます。下記のいくつかの機能を含みます。:

- ・ センサ位置の決定 [Sensor Location Determination](#)
 - ユーザ設定、ブレード間空間、2 個の組合せ
- ・ 複数ロータと翼弦（コード◆翼の前縁と後縁の直線距離）関係のセンサ位置
- ・ 稼働の RPM 履歴のクイックビュー
- ・ 同期性オーダ決定による同期性/非同期性のクイックビュー（総体）
- ・ 同期性分析 [Synchronous Analysis](#)
 - 3 個またはそれ以上のセンサを使用して、円周方向のフーリエフィット（Circumferential Fourier fit）（即ちオーダトラッキング）
 - 各センサまたは飛行時間（times-of-flight）の組合せに対して単一自由度フィット（Single Degree of Freedom fit）
 - ブレードバイブレード（Blade by blade）の閲覧とスタックプロット
 - 結果はキャンベルダイアグラムとExcel および Word formatsに送信できます。
 - ユーザの設定可能なデータ平滑化と処理機能
- ・ 非同期性分析 [Non-synchronous Analysis](#)
 - 瀑布ディスプレイ [Waterfall display](#)
 - 節直径と非同期性イベントの真実の周波数決定
 - シングルブレード振幅に対して実施される非内蔵型円周方向のフィット
 - 結果はキャンベルダイアグラムとExcel および Word formatsに送信できます。
 - ブレードふらつき角度分析（Blade Stagger Angle Analysis）
- ・ 回転翼端隙間分析（[Blade Tip Clearance Analysis](#)）
 - 2 タイプのセンサ、非平衡二重光線プローブ（skewed dual light probes (aka V-probes, SDLP)） およびブレードパルス電圧が隙間の方程式であるセンサをサポートします。
 - 校正は先端速度 (tip speed)も含むことが出来ます。
 - 校正が存在しないとき、校正ユーティリティ（[Calibration utility](#)） が、意味のある結果を生む品質的手段を準備します。
 - 結果はExcel および Word formatsに送信できます。

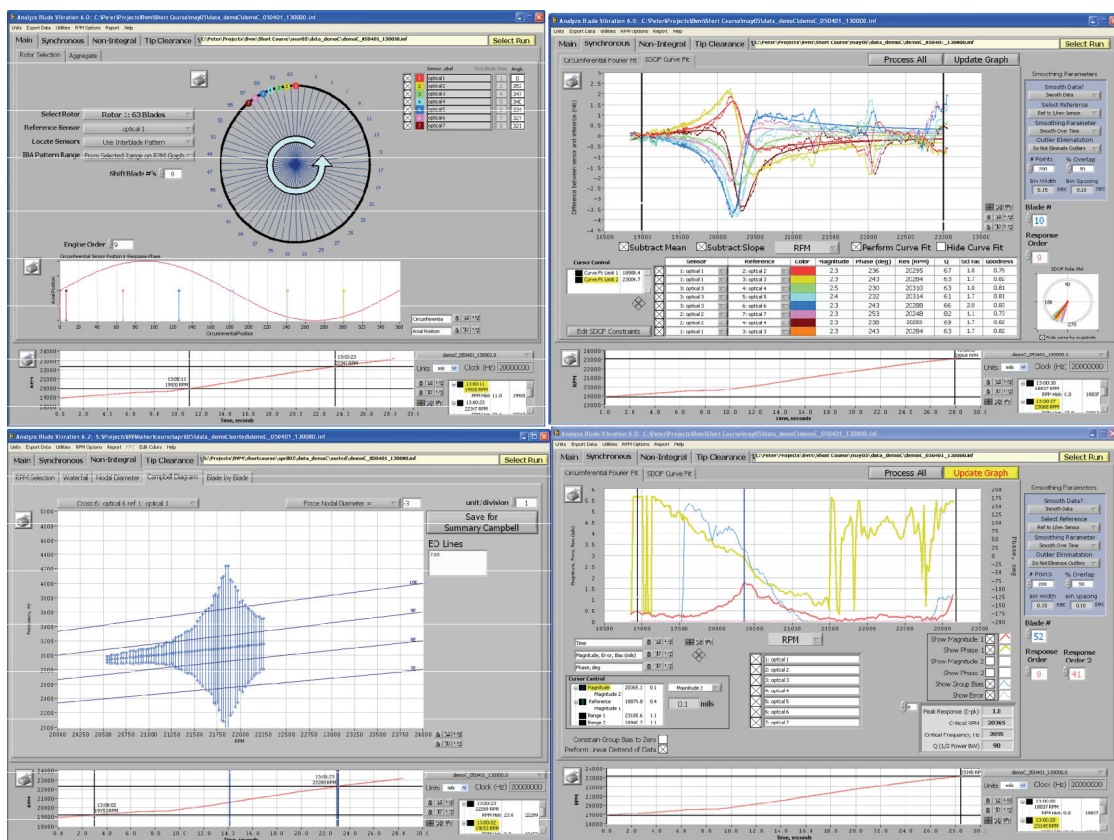


図 14: Analyze Blade Vibration softwareから複数画面を細くします。